



# 度会町議会 だより

広報委員  
委員長 舟瀬 勝  
副委員長 長谷川 多一  
委員 大西 徹  
大野 原徳  
貞森 義和  
中西 久博



## 令和元年度 第4回定例会 令和元年12月3日～12日

○令和元年度一般会計補正予算約1億1,700万円を議決し、予算総額を39億3千万円としました。

### 補正予算の概要・目的

今回の予算は、台風被害に対する災害復旧事業に加え、前年度繰越金を財源とした基金への積み立て・人事院勧告を尊重した職員等の給与改定が中心となっています。

#### 1. 児童関連予算として

- 対象者数の増加に伴う追加予算を計上
- 児童発達支援事業
- 児童福祉施設費

#### 2. 災害復旧予算として

- 農業用施設の小規模災害復旧に対する支援

#### 3. 国民健康保険特別会計への追加

- 林道の小規模災害復旧補助金
- 斜面崩壊復旧補助金
- 五里山川災害復旧工事費
- 林道立岡線災害復旧工事費
- 林道注連指西線復旧工事追加

#### 4. 水道事業会計への追加

- 今後見込まれる漏水修理工事費を計上

詳細は、担当各課へお問合せください。

## 議会 Q&A

### Q ところで問題です

町議会議員の議員報酬月額平均はどれほどでしょうか？

- 30万円
- 25万円
- 20万円



町民の皆さん、色々な質問にお答えしますのでお気軽にご連絡ください。

### A 答えは○です

度会町議会議員の報酬は、19万3千円と県下で下から3番目となっています。私たちはこの報酬で議員活動に取り組んでいます。25歳から町議会議員に立候補出来ますので若い方もぜひ町の為に働いてみませんか！

【問合せ先】議会事務局 ☎62-11113

## 一般質問 12月12日

### 舟瀬 勝 議員

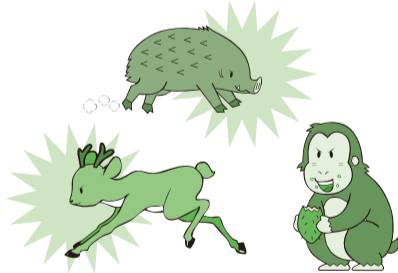


#### ○鳥獣処理施設の計画はありますか？

毎年、町内で捕獲される鳥獣は800頭以上になっており、その大半の処理は、私有地等への埋設が多いと思われませんが、衛生面等を考え、処理施設等を設置する考えはないか？質問します。

#### 町長答弁

ことし4月からの有害鳥獣の捕獲頭数は、744頭となっており、狩猟期間中を含めると、1,000頭を超えるところで、その処理については、ご指摘のとおり、大半が、山林などの私有地に埋設されている状況です。そのため、衛生面等いろいろな理由から、処理施設を建設してほしいという考え方が出てきているのも事実です。しかしながら、施設の建設に関しては、建設地周辺の住民の理解を得る等多くの課題が考えられることから、現状では有害鳥獣処理施設の建設は考えておりませんが、9月の補正予算において、有害鳥獣駆除単価の引き上げを行い、捕獲者の負担を少しでも軽減する施策を実施していることを申し添えます。



### 長谷川 多一 議員



#### ○高齢者が生き生き

#### 過ごせる町づくりについて

現在、当町における高齢者は、2,765人(高齢化率約34%)となっておりますが、このような方々が、生き生きと元気に過ごすためには、①社会参加し他人と接すること ②他人から喜ばれる ③活動に伴うながしかの報酬を得る 等により、「やりがい」を感じられることが必要と考えますが、そのための仕組みとして「シルバー人材センター」等の設立は考えられないか？質問します。

#### 町長答弁

現在町では、「みんなが満足して、自分らしく生きることが出来る町」を掲げ、高齢者施策に取り組んでいます。「満足して生きる」ためには、高齢者がいきいきと生活できる環境づくりが大切です。また、介護予防の観点からも、「人とのつながりを持っている人」の方が、介護予防としての効果があるとの研究結果も出ていることから、他者との交流が健康を維持するための重要な要素といえます。

シルバー人材センターにつきましては、現在活動している社会福祉協議会の有償ボランティア「お助け隊」との住み分け等課題があることから、今年度は、この「お助け隊」の隊員を増やす取組を社協と協働で重点的に進めてまいります。

将来的には、シルバー人材センターの設立を目指す方向でありますが、慎重に前向きに検討してまいります。



若宮 淳也 議員



○気候変動によって高まる  
災害リスクにどう対応するのか？

①防災マップの活用をふまえた町民への周知  
について

近年、防災リスクが高まってきている中、避難場所か避難所のどちらに行ったらいいのかわからない、避難経路がわからない町民も多いと聞いています。防災マップに記されている情報の周知が必要と考えられるが、行政の意見をお聞きします。

町長答弁

防災マップにつきましては、来年度以降の事業として防災マップの更新を計画しており、その際にも、危険個所の周知だけでなく、避難体制をはじめ、住民の皆さんが活用してもらいやすいものにしていきたいと考えています。

また、周知方法につきましては、「度会町メール」の登録を推進しており、年々登録者は増加しておりますが、来年度は「春まつり」会場においても登録ブースを設置し、登録者を増やしていきたいと考えております。

②現在の避難場所・避難所の見直しについて

現在の避難場所・避難所には、それ自体が安全といえないところも多いため、民間企業や個人住宅も含めて安全な避難場所を確保する必要があるのではないかと？

加えて、災害によっては、輸送ができないことも考えられることから、分散管理の考え方により、防災機器等も避難場所に備えておく必要があるのではないかと？



町長答弁

避難場所については、災害種別によっては避難所として使用できない公共施設がある中で、避難所ではなく「親戚や友人などの安全な住居」へ避難するという考え方は、避難所圧迫の解消につながることから、自助・共助の観点により推進している。なお、高齢者施設などを福祉避難所として使用させていただく協定は締結しておりますが、他の企業については、現在協定までは至っておりません。今後、必要であると判断した場合は、企業とも協議し進めていきたいと考えております。

また、地区集合場所への資材備蓄については、自主防災会への購入補助として進めており、共助の観点から、自主防災会にて、個人保有の資機材を活用できるようリストを作成していただいております。

なお、避難所へ備蓄することについては、食料の賞味期限の管理、盗難の懸念等もあり、慎重に進めていく必要があると考えております。

貞森 義和 議員



○2つの電力事業について

風力発電・メガソーラーの2つの巨大事業について、事業完了時の約束を文書で取り交わしてもらいたい。

町長答弁

2つの電力事業の事業が完了した時点での「発電施設の撤去」および「跡地の環境回復」については、平成28年6月に改正された「フィット法」により、事業完了時の「発電施設の廃棄費用の確保と報告の義務化」がうたわれており、町としても、両事業に関して、町・事業者・地元地区の3者において、「環境保全等協定書」および「覚書」を締結し、①事業終了後の施設の撤去 ②緑化による景観上の配慮 ③設備の点検と安全管理のさらなる強化 ④事業終了後の土地利用については事前に協議すること等を項目としております。

○省エネ発電促進賦課金について

賦課金について

我々が毎月支払っている

電気料金の中に「省エネ発電促進賦課金」という項目があるが、この内容について聞きたい。



町長答弁

再生可能エネルギーを用いて発電された電気について、一定の期間国が定めた価格により、電気事業者が買い取ることが義務付けられています(固定価格買取制度)。この中で、コストの高い再生可能エネルギーの導入を支えるため、買取費用の一部を、電気使用者がその使用量に応じて負担するのが「発電促進賦課金」です。また、その単価は、国が全国一律単価を、年度ごとに経済産業大臣が定めています。年々上昇しており、平成24年度0.22円/キロワットアワーだったものが今年度では2.95円/キロワットアワーと13倍以上となっていることを申し添えます。

○迷彩色ヘリの撤去について再度要望

軍事色の強い迷彩色ヘリを宮リバー公園に置くことは、すべての法規の基本である平和憲法の理念からみてもおかしいと考えますので、再度撤去を要望する。

町長答弁

このことについては、9月の一般質問で回答したとおり、大規模災害時の被災地では、自衛隊の支援があるからこそ救われているといっても過言ではないと考えています。このことから、ご質問のヘリコプター撤去については、様々なご意見があると思いますが、前回の回答と同様撤去しない考えです。

議員活動報告

○令和元年8月1日・12月12日

2大発電事業に対する研修

「度会ウインドファーム」

- ・現地研修会において、事業概要説明研修
- ・事業終了時の体制について、「協定書」「覚書」の確認を行った。

「宮リバー度会ソーラーパーク」

- ・事業概要の説明
- ・空中撮影および事業計画書に基づき事業進捗率の確認
- ・事業終了時を含め、事業期間中に発生する諸問題に対する、行政の対応内容の確認を行った。

○令和元年10月

先進地事例研修

24日 「岡山県久米南町」

移住定住推進事業の核として、ブドウ栽培(シャインマスカット)の復活に力を入れることにより、県外からの移住者を呼び込み、現在では、耕作放棄地の再生により農地を造成しているが、移住者の要望に応えきれないまで成功している事例を研修しました。

25日 「兵庫県 福崎町」

町おこし事業としての「もち麦」の生産・販売体制の構築内容について研修しました。



もち麦のやかたでの研修風景